

2024 2/27

No.2205

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —

第45回 ヨコハマ映画祭
映画ファンのための熱いまつり



横浜の映画ファンが中心となって運営する「ヨコハマ映画祭」の授賞式が4日、関内ホール（横浜市中区）で行われ、銀幕のスターらが一堂に会し受賞の喜びを語った。



contents

視点点描	
人口減社会へ対応急務	3
特集	
大規模災害時の「対口支援」 能登半島地震で生かされたか	4
経済双眼鏡	
賃上げ春闘、なるか合格ライン 大手経営側は意欲的、焦点は中小企業	8
水谷竹秀×リアルワールド	
キーウの街に暮らす夫婦の日常	9
くらし2024	
介護と医療の連携強化 生かせるかコロナ禍の教訓	10
本郷和人 歴史の舞台をゆく	
独眼竜政宗は米沢で育った	12
神奈川景気データファイル	
	14

事務局だより

◇2024年3月定例講演会
3月4日(月)午後1時30分～3時
横浜ベイシェラトン ホテル
& タワーズ(横浜駅西口)
講師：ウエインズトヨタ神奈川
社長 宮原 漢二氏
演題：スポーツとともに目指
す地域活性化 ～新し
いうれしい!をつくる

◇2024年4月定例講演会
4月17日(水)午後1時30分～3時
ホテル、ニューグランド(横浜
市中区)
講師：ファンケル名誉相談役
ファウンダー
池森 賢二氏

【お知らせ】神奈川政経懇話会は2月、2024年度の事業計画案と収支予算案を理事会で承認しました。これまで同様、講演会を月1回開催し、会報「政経かながわ」を年21回発行する予定です。

視点 点描



人口減社会へ対応急務

国立社会保障・人口問題研究所が昨年末に公表した地域別の推計人口はショッキングな内容だった。2050年時点の人口は20年と比べ、東京都を除く46道府県で減少し、神奈川県も7・7%減が見込まれるという。ある程度は予想されていたのだが、実際に数字を示されると衝撃的だ。

生産年齢人口に絞ると減少幅はさらに広がり、働き手が激減する厳しい将来像を突きつけられる。共同通信の分析によると、全国の市区町村の約4割で50年時点の生産年齢人口は20年比で半数未満に落ち込む。県内でも三浦と山北、真鶴、湯河原の1市3町が該当し、日本最大の自治体である横浜市でも2割弱減少するとみられる。一

方で増加に転じる県内自治体は一つもない。

人口減少が大きな地域は、税収減や経済の縮小により、教育や医療といった生活基盤が崩れたり、自治体運営が維持できなくなったりする恐れがある。

リクルートワークス研究所（東京都）の「未来予測2040」では、団塊ジュニア世代が高齢者となる40年に1100万人余りの労働供給が不足すると指摘している。42年まで高齢人口が増加を続け、医療や福祉など人手を介する生活サービスの需要がほぼ横ばいで推移するのに対し、生産年齢人口の急減により労働供給量は加速度的に減少するからだ。

都道府県別の予測では、東京都を除くすべての道府県で40年には労働者が不足し、神奈川県も30年に2・5%、40年には13・9%の不足率と推定されている。

団塊ジュニアの一人として40年の社会を想像してみる。体調を崩しても医師の診察やヘルパーの介護が受けられない。買い物を通販で済ませたくてもドライバー不足で著しい遅配。住まいや道路が老朽化してもメンテナンスできず、もし災害に見舞われたら…。

その気配は現在も既に感じられている。東京商工リサーチ横浜支店によると23年に倒産した県内企業（負債1千万円以上）は前年比27・8%増。業種別では建設業や運輸業の増加が目立ち、残業規制が強化される「2024年問題」の対象業種で、人手不足の影響が出始めているとみられる。

労働力が先細りする中、機械化や自動化技術の導入、外国人材などでどこまで補えるか。本格的に向き合う時期が来ている。

（統合編集局報道部
地域報道統括部長・米本 良子）